



東御市

第75号
2022.11.1

議会だより

- 2～7 …… 令和3年度一般会計決算審査
- 8 …… 令和3年度特別会計・公営企業会計決算審査
- 9 …… 令和4年度補正予算
- 10 …… 予算決算特別委員会報告/条例/請願・陳情
- 11 …… 提出案件の審議結果/可決した予算・条例等
- 12～19 …… 市政を問う(14人の議員が質問)
- 19 …… 社会文教委員会現地調査/農業委員会との懇談
- 20 …… きらり★キラリ「清水やよいさん」

一般会計決算審査 全会一致で 認定！



表紙の写真

火のアートフェスティバル
体験コーナー



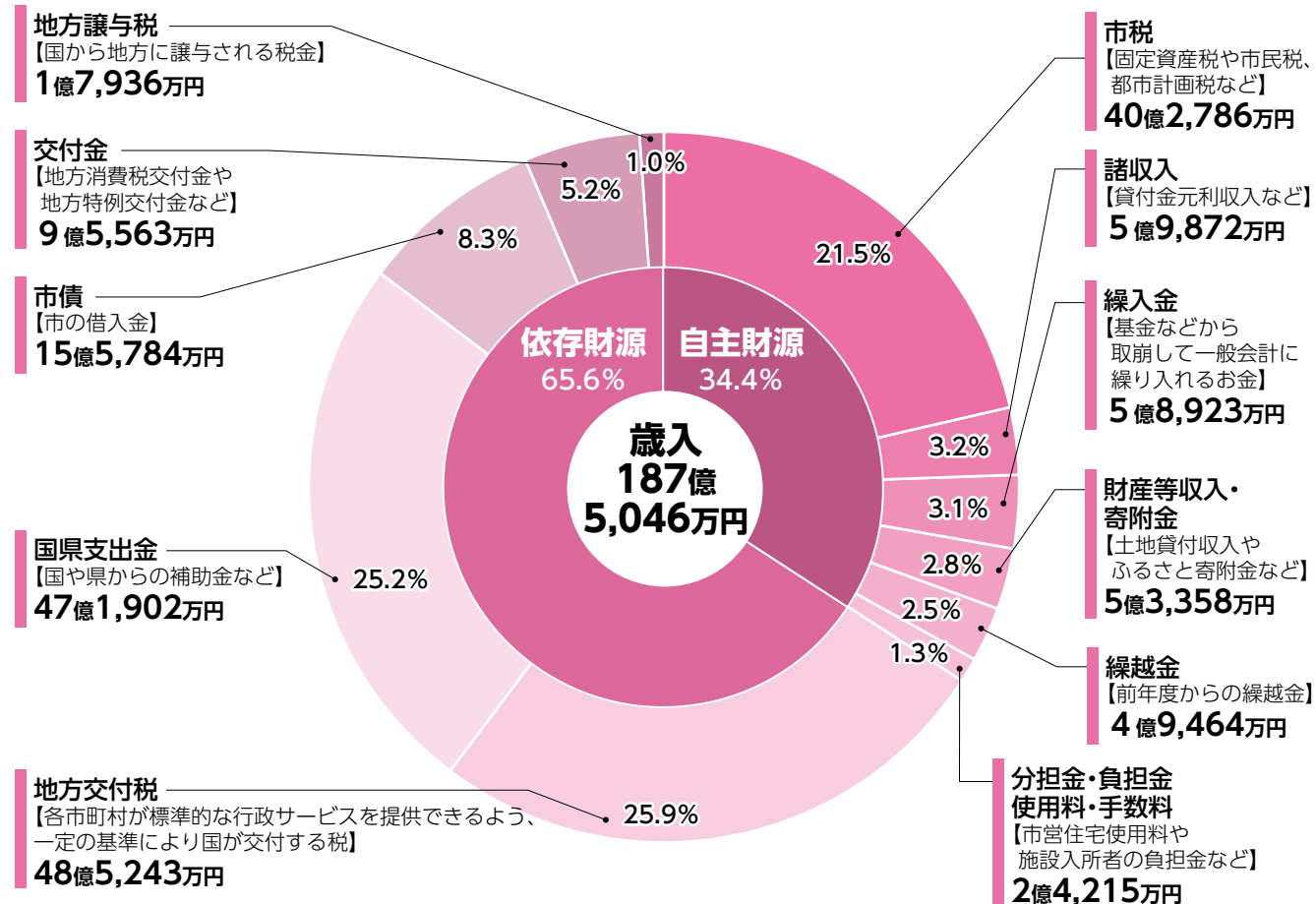
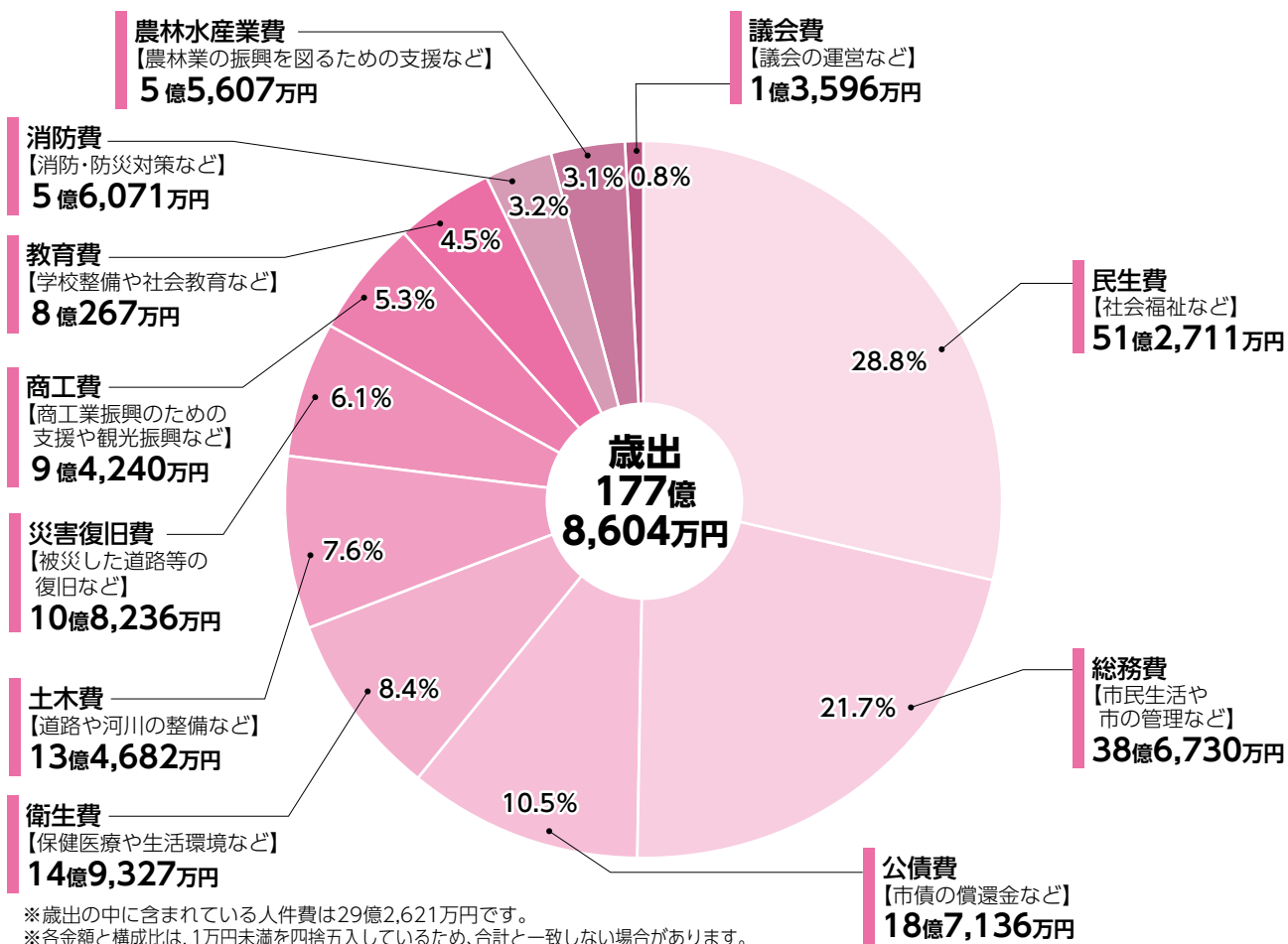
東御市議会
ホームページ

令和4年
9月定例会

令和3年度 一般会計決算審査

市の重要課題への
対応を評価

全会一致で認定



東御市財政の健全化 判断比率とは

代表的な健全化判断比率の実質公債費比率と将来負担比率

実質公債費比率 8.4%

※実質公債費比率は、地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。**国で定めた基準は25%以内**で、それを超えると、国などから起債（借入）ができなくなるなど、市の事業運営が制限されます。

将来負担比率 40.9%

※将来負担比率は、地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。数値が大きいほど将来の返済への負担が大きくなります。**国が示す基準は350%**です。

賛成 討論

大塚 博文 議員

当初予算 151億7,800万円に対し、歳出決算額は177億8,604万円であった。令和2年度に比べ差は小さくなっているが、新型コロナウイルス対策や災害復旧対策のため多くの補正が行われた結果であり、予算執行に当たって大変苦労されたであろうと推測する。

財政指数の、将来負担比率は40.9%、経常収支比率は91.8%、実質公債費比率は8.4%といずれも国の基準に対し余裕をもってクリアしている。以上のことから、本決算は認定すべきと考える。

コロナ禍も完全な収束には時間がかかりそうである。まだまだ気の抜けない状況が続くが、令和4年度後半の運営、令和5年度予算の作成をしっかりとやっていただくことを要望し、賛成する。

令和3年度の一般会計決算は歳入決算額187億5,046万円、歳出決算額177億8,604万円となり、差引額は9億6,442万円、翌年度への繰越財源2億6,171万円を差し引いた実質収支は7億2,711万円の黒字決算となりました。

令和3年度一般会計決算の特徴としては、令和2年度に引き続き令和元年台風19号災害に関わる災害復旧費や、新型コロナウイルス感染症対策に関する事業費があげられます。

台風19号災害からの復旧事業は、一部の復旧工事が令和3年8月豪雨の影響で令和4年度に繰り越されましたが復旧工事がかなり進みました。

新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチン接種事業や子育て世代への給付金事業など多くの事業が実施されました。

新型コロナウイルス感染症対策事業費を中心に、様々な課題に対応するため、令和3年度一般会計決算の内容を精査しました。（詳細P4～P7）

常任委員会審査の後、予算決算特別委員会でもさらなる審査をし、質疑の内容や議員より出された意見や要望をもとに、今後の市政に対する附帯意見を付けました。（詳細P10）

なお市財政の実質公債費比率、将来負担比率はいずれも国の基準を満たしており、東御市の財政は健全であるといえます。（P3に解説）

決算審査は、議員それぞれが決算書や附属資料をもとに決算内容を審査した上、総務産業委員会、社会文教委員会の常任委員会において、まず議員のみで重要施策を中心に効果や結果を精査し、適切に事業執行がされたかを審査しました。

その後職員から説明を受け、必要があれば資料などを求めながら質疑を行い、各事業の決算内容を精査しました。（詳細P4～P7）

17回の予算補正がなされました。議会ではその都度内容を精査し、すみやかに議決して事業促進につなげました。

新型コロナウイルス感染症対策

令和3年度
一般会計

昨年引き続きワクチン接種事業などに重点的に支出！

新型コロナウイルス 感染症対策

令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業、子育て世帯給付金特別事業、子育て世帯への臨時特別給付金事業、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金などを内容として17

回の補正を行いました。その主な財源としては、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金が充当されました。教育関係では、学校施設内、また児童館の感染対策のための必需品物品を供給し、環境を整えました。商工関係では、観光をし

ながら働く場所としてのサテライトオフィス整備を行いました。また、コロナの影響の大きい企業等に対し、事業者支援交付金、飲食店応援クーポン券利用事業等国や県市単独での支援が継続されています。

令和3年度の主な 新型コロナウイルス感染症対策事業費

事業名	金額
子育て世代生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）	2,287万円
子育て世代生活支援特別給付金（その他世帯分）	1,812万円
子育て世代生活支援特別給付金（先行給付と追加給付）	2億2,833万円
住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金	2億2,751万円
新型コロナウイルス感染症検査補助金	114万円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	252万円
新型コロナウイルス感染症対策事業費（消毒、マスクなど補助）	183万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	2億5,127万円
特別警報Ⅱ支援金（時短要請の影響を受けた事業者に補助）	720万円
飲食事業者等緊急支援金	1,730万円
新型コロナウイルス対策資金融資利子補給金	2,355万円
飲食店応援クーポン事業委託料	2,528万円
飲食事業者等新型コロナ対応応援補助金（繰越分）	301万円
緊急就労支援事業（コロナ禍の影響による失業者の支援）	96万円
湯の丸サテライトオフィス等整備事業費	3,537万円

健康・福祉

令和3年度
一般会計

支援を必要としている市民に向けて

安定した生活にむけて 生活困窮者 自立支援事業

決算額2347万円

生活困窮者や社会的孤立の課題を抱えた方を対象に、相談業務の強化をはかり、自立支援を実施することで、対象者の生活の安定をはかることを目的とした事業です。

昨年度より新規相談件数は減少していますが、継続件数も多く引き続き伴走的支援を行いました。生活困窮対策では複合的な問題を持つ家庭が多く、重層的支援体制が必要です。また、社会的孤立にある方への支援についてもSNSを活用した相談窓口を開設する予定です。その他、家計改善支援11件、住居確保給付20世帯に年間90分を支給しました。

在宅医療・介護の 連携強化へ

在宅医療・介護
連携事業費
決算額15万円

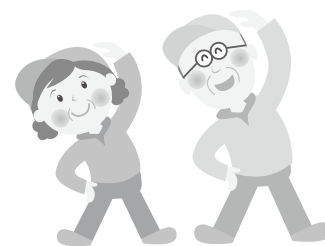
高齢者の尊厳の保持と自立支援を目的として、重度な要介護状態となっても可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を生涯送れるように、地域の包括支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の推進を目的とした事業です。

医療と介護の総合相談窓口における相談支援事業では、専門的な相談支援件数は2703件、令和3年度から新設された医療に関する相談件数は285件でした。今後、さらなる連携と体制整備のため、引き続き多職種連携会議や地域ケア推進会議などを実施していく予定です。

フレイル対策の推進 介護予防把握事業費 決算額54万円

フレイル（虚弱）への理解を促進し要介護状態になる可能性の高い高齢者を早期に把握するとともに、介護予防事業などにつなげることで重症化予防を推進する事業です。

健脚度測定5回、ずくだし教室6回の開催で、併せて158名の参加がありました。今後、新型コロナウイルス感染症の影響で公民館などが使用できないときも介護予防に取り組めるように、オンラインアプリを活用して自宅において介護予防教室に参加できる取組を実施する予定です。



子育て・教育

令和3年度
一般会計

多様化する子育て・教育課題に対応

細やかな支援の充実

子育て支援

決算額310万円

親子の愛着形成を促し、子育ての孤立化や虐待を予防するために子育てに係る学習や親子交流、相談事業、家庭への個別相談の実施。また、出生から概ね18歳までの局面における子育て家庭への包括的かつ継続的な支援を行うことを目的とした事業です。

センターの拠点整備や人員、組織体制の調整を行いまし



心と健康を育む教育

不登校対策・特別支援 教育事業費

決算額4304万円

不登校児童生徒の学校への復帰と学習機会の保障、また新たな不登校の原因となる問題の発生を抑制することともに、各学校、家庭への伴走的な支援に取り組みながら「インクルーシブ教育」を目指すことを目的とした事業です。

市内7校の小中学校に心の教室相談員7名、特別支援教育支援員19名を配置し登校に悩みや抵抗を持つ児童生徒について、本人、保護

者、担任などと相談やカウンセリングを継続的にを行い、必要に応じて関係機関とのコーディネートをしています。

長期欠席児童生徒1人当たりの欠席日数を前年度と比較すると令和3年度は個々の児童生徒に改善が見られました。

※インクルーシブ教育とは人間の多様性の尊重等を強化し、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶ仕組み。

ICTの活用・推進へ

学力・体力向上 対策事業費

決算額426万円

教職員のICTに関するスキルや知識を向上させ、児童生徒一人ひとりに個別最適化された教育ICT環境の充実をはかり、学習指導要領において情報活用能力の育成や、ICTを適切に活用した学習活動を行うことを目的とした事業です。新たにICT支援員3名を配置し、市内小学校5

くらし・環境

令和3年度
一般会計

便利なくらしと良い環境を市民に

デジタル技術の活用

電子自治体事務諸経費

決算額2789万円

デジタル技術の活用による行政サービスの向上と業務の効率化への取り組みが進んでいます。まず「証明書オンライン申請シス



家庭でのオンライン授業の様子

きれいなまち作り

環境保全諸経費

決算額707万円

市民、事業者および関係団体などの理解と協働のもと、地域の豊かな自然環境と生活環境を守り育てる運動を展開し、環境保全意識の高揚をはかり、自然と人が共生する持続可能な社会の形成を推進することを目的とした事業です。

まちをきれいにする月間中の区内清掃には55区6915名の参加がありました。また、不法投棄パトロールを年間100回実施し、市内の不法投棄の回収を行いました。今後不法投棄防止の啓発や不法投棄の抑制策と摘発を総合的に行っていきます。

なお、各種環境調査において異常値は確認されず例年と同水準であったとの報告がありました。

防災・減災・災害復旧

令和3年度
一般会計

令和元年台風19号災害からの復旧が進む

災害復旧費

10億8236万円

令和2年度に引き続き、

令和3年度も重点課題として台風19号災害の復旧工事に取り組み、流出した橋や、農業用水の取り入れ口である頭首など農業施設や被災した農地の復旧が進みました。

しかし布下橋など一部の復旧工事については、令和3年8月豪雨の影響で工事が遅れ、令和4年度に工事



令和3年12月の布下橋



令和4年10月の布下橋

が繰越されました。現在は台風19号災害関連の橋の復旧工事は完了しています。

災害復旧工事は原状復帰が基本ですが、橋の位置を変更する（布下橋など）「改良復旧」に努め、今後の災害に備えた工事が行われました。

なお令和3年度の災害復旧費のうち8億2236万円が台風19号関連の復旧工事費です。

農業・商工業・観光

令和3年度
一般会計

多様化する農業・商工業・観光の課題に対応

御堂地区

ワイン用ぶどう生産支援

果樹農業振興対策

事業費

決算額1035万円

産地生産基盤パワーアップ補助金を活用し、御堂地区のワイン用ぶどう生産者に支援が行われました。補助金は、ぶどう棚用トレリスやスピードスプレイヤーなどの機械導入に使われました。

有害鳥獣対策

御堂獣害防護柵

設置事業費

決算額192万円

御堂地区に獣害防護柵が717m追加設置されました。完成後は圃場内でシカのフンが見られなくなりました。

※参考 令和3年度に市全体で捕獲された有害獣の数

シカ151頭・クマ9頭
担い手農家への農地の集積集約化支援

農地利用最適化交付金

事業費

決算額60万円

農業委員および農地利用最適化推進委員の「人・農地プランの実質化」等に係る活動費用です。

シティー

プロモーションの推進

シティプロモーション

事業費

決算額981万円

首都圏の新聞に東御市の広告掲載、ロゴマークの作成・普及、ふるさと大使による動画の作成などが行われました。
公式オンラインショップの販売戦略立案、公式ファンクラブサイト設立などもできました。

多言語による観光情報発信

観光事務諸経費

決算額414万円

湯の丸高原ビジターセンター展示物の多言語化が完成。湯の丸キャンプ場の平駐車場にWiFi環境が整備されました。

地域ブランディングの推進

地方創生推進事業費

決算額870万円

小規模事業者に対しインターネット上のショップ（EC）出店支援やマーケティングセミナーが行われました。ECサイト内への出店実績は32業者、99品目でした。

これらの活動を通じて東御産品のブランド化、高付加価値化を進めるものです。

海野宿滞在型交流施設の有効利用

海野宿観光対策事業費

決算額1282万円

「うんのわ」開館日数310日、来館者数5076人でした。竹灯籠製作ワークショップが開催され、ライトアップの実施は8回行われ、参加者は52人でした。ワンデイシェフランチの開催日数は20日、提供食数682食でした。このほか海野宿検定など地域おこし協力隊が積極的に活動を行いました。



「うんのわ」の竹灯籠

道路などの公共施設整備

令和3年度
一般会計

市民要望の高い道路整備などに対応

舗装・橋梁等の修繕事業

道路舗装等修繕事業など

決算額1億2275万円

長寿命化計画にしたがい

橋梁、道路、道路の付属物に対し点検、調査、補修工事が行われました。実施内容および場所は次の通りです。

舗装工事

南部布施線、羽

毛田赤岩線、下八大日向線

橋梁修繕工事

みまき大橋、

上ノ山1号橋

橋梁定期点検

道路橋点検

49橋、跨道橋点検6橋、眼鏡橋2号

令和4年度からは交付金、補助金のほか緊急自然災害防止対策事業を活用し事業の推進がはかれる予定です。

市道県東深井線の建設事業

東深井線道路整備事業

決算額2518万円

地域づくり・その他

令和3年度
一般会計

地域課題の解決に対応

空き家問題は社会的課題

空家等対策事業費

決算額119万円

空家等対策協議会の開催（3回）、データベースの保守管理、相続財産管理人の選任などが行われました。空き家バンクの管理は別途企画振興課で行われています。空き家問題は社会的課題であり、統括部署が必要ではといった議論もあり継続して検討します。

地域公共交通計画策定

交通対策諸経費

決算額8073万円

公共交通の現状分析や、市民等を対象にアンケートを実施し移動に関する課題やニーズの把握を行いました。公共交通実証実験で湯の丸タクシー補助事業と電動アシストバイクによるレンタサイクル事業が行われました。持続可能な交通システムの確立に向けて公共交通活性化協議会で計画が練り上げられます。

湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計

令和3年度

東京五輪開催の追い風を受け順調な事業執行となる

令和3年度の湯の丸

高原屋内運動施設事業

特別会計は歳入合計

2億5626万円、歳出合

計2億5244万円の黒字

決算となりました。

東京オリンピック・パラリンピックの開催年で、

屋内プールの利用者は合

宿、日帰り利用合わせて

9753人、4132万円の

収入となりました。

運営面では、水道光熱費

が見込みを下回り指定管

料が減額となりました。

財源となる寄附金の状況

は、東京五輪が終わったた

め個人版ふるさと寄附金は

昨年より大きく減額となり

ましたが、企業版ふるさと

寄附金と一般寄附金が好調

でほぼ昨年並みの寄附金が

集まりました。

採決では、個人版ふるさと

と寄附金の「市長におまか

せ」二分は一般財源と指摘す

る反対意見が出されました

が、賛成多数で決算は認定

されました。

賛成討論

窪田俊介議員

屋内プールの運営、起債償還には一般財源に手をつけず、寄附金で財源確保するとしながら、個人版ふるさと寄附金の「市長お任せ」を特設プールに投入していることは認められない。

競技者用の施設であり、公共性の担保には程遠い姿である。寄附金の見通しが難しい点も変わりが無い。

賛成討論

齊藤 哲議員

屋内プールの利用者の拡大に伴う収益増などに、指定管理料が減額された。

また、地元中学生による部活動の利用もあり、市民の利活用にも貢献している。スポーツツーリズムにおける東御市の観光資源の役割を十分に果たしており、東御市の知名度アップに貢献する大切な施設である。

令和3年度

特別会計決算

一般会計から繰り入れ
地域改善地区住宅改修
貸付事業特別会計

歳入 580万円
歳出 577万円
差引 3万円

起債の償還が終了することに伴い、令和3年度をもって本会計を廃止するため一般会計から490万円の繰入金を行いました。今後は一般会計内で貸付金の回収を行います。委員からは、引き続きいいいな納付相談等で債権の回収に努めるよう求める意見がありました。

被保険者の高齢化が進む
国民健康保険特別会計

歳入 32億8701万円
歳出 32億3320万円
差引 5381万円

令和3年度は、被保険者全体では2.8%減になった反面、70歳以上75歳未満の高齢受給者は、0.9%増

加し被保険者の高齢化がさらに進んでいます。

特定健康診査等事業の健診受診率については、前年度より若干向上し、41.3%となりました。

歳入、歳出決算額の対前年度額は大きく増加していますが、これは令和2年度にコロナにより受診控えがあったものが再び戻ってきたものと考えられます。

介護報酬のプラス改定を実施

介護保険特別会計

歳入 28億9961万円
歳出 28億7490万円
差引 2471万円

令和3年度は、介護報酬のプラス改定が行われたことに伴う保険給付の増加、また、市内で初めての看護小規模多機能型居宅介護事業が開所したことにより、地域密着型サービス給付費が増えたことが特徴です。第1号被保険者数は、前

年度比0.4%の増、要介護要支援者は、前年度比5.4%の増となっています。また令和3年度において介護保険支払い準備基金の取り崩しはありませんでした。

後期高齢者特別会計

歳入 3億6829万円
歳出 3億5420万円
差引 1409万円

昨年度に引き続き世代間世代内の負担の公平をはかるため、法改正による保険料の見直しを行いました。令和3年度の被保険者数は昨年度比0.2%減。歳入決算額は、後期高齢者保険料の増額などで前年度比0.2%増となりました。歳出決算額は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額などで、対前年度比0.2%の増となりました。一人当たり要した医療費は約90万円で、4.3%の増となりました。

令和3年度

公営企業会計決算

水道水の
安定供給確保
上水道事業会計

石綿管敷設替事業は田沢区、奈良原区および西入区の工事を行いました。緊急布設替工事は常田区、白鳥区で排水管の敷設工事を行いました。

審査では水道施設の長寿命化に関連し、市内の他水系から水回し運用を検討するとの説明に、緊急時は近隣市との協議が必要ではとの意見が出されました。

経営の健全化を図る
下水道事業会計

下水道統廃合計画による公共施設工事を実施しました。また、令和3年8月の長雨で西海野地区内汚水があふれる被害があり、対策として東部浄化センターのマンホールポンプの増強や、マレットゴルフ場を経由し処理槽へ流入する圧送管を

増設しました。

審査では、終末処理場の処理能力やトラブルが起きた時どうするかとの懸念があるため、問題が起きたら即座にオープンにし、的確な対応をすべきとの意見が出されました。

地域の医療ニーズに
こたえる
病院事業会計

市民病院の入院患者数は、前年度比9.4%（一日4人）増、外来延べ数は、6.4%（一日16人）増となり、

診療所は地域包括ケアシステムの構築に努めています。外来延べ数は、前年度比7.5%（一日3人）増、訪問診療は38.9%の75人となりました。利益額は、前年と比べ、1320万円の増額となっています。

助産所とうみの分娩件数は、少子化とハイリスク分娩の増加により減っており、5件減の55件でした。母乳育児外来は、9.7%（年間68人）増、産後ショートステイは、37.7%（年間20人）増で、産後ケアの充実は、はかられています。委員からは、助産所の魅力を積極的に発信すべきとの意見がありました。



令和4年11月1日 東御市議会だより75号

令和4年度

補正予算関連

議案第63号

令和4年度東御市一般会計補正予算（第5号）

農業施設維持管理

600万円

畑かん（畑地散水施設）の漏水修繕工事費の補正です。場所は弥津十二平地区です。

議案第64号

一般会計補正予算（第6号）

健康増進施設使用
扶助費

1770万円

新型コロナウイルス接種期間延長に伴う高齢者センター入浴施設利用の代替え措置として、市内温泉施設の優待券を対象となる方に1人6枚贈呈するための費用です。

新型コロナウイルスワクチン
接種事業費

7280万円

オミクロン株に対応した

社会福祉総務費

5463万円

新しいワフチンによる追加接種事業に要する費用で、全額国から交付されます。

議案第65号

令和4年度東御市一般会計補正予算（第7号）

自立支援のための放課後デイサービス等に通う児童等の受け入れが施設の増加により進んだことによる障害児通所給付費と、市民税非課税かつ75歳以上のみの世帯等への冬季の暖房費の助成をする費用です。

母子保健・児童福祉
一体的相談支援機関
整備事業費

4330万円

子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体化をはかるため市役所北側駐車場と支援センター2階をつなぐ通路等の施設改修等の費用です。



連絡通路でつながる子育てセンター

議案65号
反対討論
市毛真弓議員

高齢者センターからかけの入浴施設が廃止されようとしている。入浴施設は、社会福祉と高齢者福祉の施策において、かけがえのない財産であり、なくしてしまう

議案65号
賛成討論
瀬田智之議員

本補正予算の多数が原油価格高騰に伴う電気料、ガソリン代の増額補正である。高齢者センターの入浴施設廃止については、施設の老朽化が進み継続的に

文化会館修繕事業費

1430万円

文化会館の非常照明用直流電源装置の改修工事費です。関連として、公共施設の照明のLED化を求める意見が出ました。

常田新張線歩道設置
事業費

2200万円

通学路である常田新張線

のは納得ができない。

利用者の意見が反映されておらず、十分に議論されていない。本来検討すべきことがなされないまま事業を進めることは、福祉施策にふさわしくない。

利用するためには、多額の改修費がかかることが想定される。設計委託料は多様化する高齢者福祉拠点の整備に必要な予算であり、また、そのほかの予算計上も妥当であると考える。

に歩道を設置する工事費の補正です。令和5年度分の

工事を前倒しし、令和4年度に一括発注し事業を完了する予定です。

農林水産施設災害
復旧費

920万円

7月豪雨により被災した農業用施設9件の機能回復に要する農業施設災害復旧費400万円と、被災した農地10件の復旧に要する農地災害復旧費520万円の補正です。

なお議案65号を採決するにあたり、高齢者センター改修実施設計業務委託料に反対する立場から、議案65号に反対討論が出されました。同議案に対する賛成討論も出された後、採決の結果、賛成多数で可決されました。

議案第66号

国民健康保険特別会計
補正予算（第1号）

一般管理事務諸経費

107万円

マイナンバーカードの保険証利用申し込みの支援のため個人番号カード利用申し込み用端末機を健康保健課に設置するリース料です。

議案第69号

病院事業会計補正予算（第1号）

倉庫等改修工事費

1150万円

病院内の空きスペースに間仕切りを設置し、倉庫機能の利便性を高めるための費用です。市民病院中庭に設置されているプレハブ倉庫を職員更衣室に改修し労働環境を改善します。

議案第72号

令和4年度東御市一般会計補正予算（第8号）

庁舎維持補修費

250万円

庁舎正面玄関前駐車場に、車両用転落防止柵を設置するための工事請負費補正です。10台分、約50メートルに設置します。

令和4年
9月

定例会の提出案件の審議結果

採決結果:○は全会一致
○は賛成多数 ×は否決

議案番号	案 件	採決 結果	予算決算特別委員会 審査結果
令和3年度東御市歳入歳出決算（関連記事 P 2～8）			
議案第54号	令和3年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について 歳入187億5,046万円、歳出177億8,604万円で9億6,442万円の黒字	○	○
議案第55号	令和3年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入32億6,701万円、歳出32億3,320万円で5,381万円の黒字	○	○
議案第56号	令和3年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入28億9,961万円、歳出28億7,490万円で2,471万円の黒字	○	○
議案第57号	令和3年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入580万円、歳出577万円	○	○
議案第58号	令和3年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入3億6,829万円、歳出3億5,420万円で1,408万円の黒字	○	○
議案第59号	令和3年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入2億5,626万円、歳出2億5,244万円で382万円の黒字	○	○
議案第60号	令和3年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 収益的収入6億4,319万円、収益的支出5億1,854万円	○	○
議案第61号	令和3年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 収益的収入13億2,108万円、収益的支出11億8,923万円	○	○
議案第62号	令和3年度東御市病院事業会計決算認定について 収益的収入20億857万円、収益的支出19億3,055万円	○	○
令和4年度東御市補正予算（関連記事 P 9）			
議案第63号	令和4年度東御市一般会計補正予算（第5号） 農業施設修繕工事費600万円の増額補正	○	—
議案第64号	令和4年度東御市一般会計補正予算（第6号） 新型コロナウイルスワクチン接種事業費など9,050万円の増額補正	○	—
議案第65号	令和4年度東御市一般会計補正予算（第7号） 子育て支援センター改修事業費、常田新張線歩道設置事業費など2億4,853万円の増額補正	○	○
議案第66号	令和4年度東御市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 一般被保険者にかかわる療養費など744万円の増額補正	○	○
議案第67号	令和4年度東御市介護保険特別会計補正予算（第1号） 介護給付費負担金等過年度精算金など2,201万円の増額補正	○	○
議案第68号	令和4年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算（第1号） 湯の丸高原屋内運動施設の維持管理に要する費用など1,764万円の増額補正	○	○
議案第69号	令和4年度東御市病院事業会計補正予算（第1号） 倉庫等改修工事費1,150万円の増額補正	○	○
議案第72号	令和4年度東御市一般会計補正予算（第8号） 子育て世代への臨時特別給付金費過年度精算金など1,233万円の増額補正	○	○
議案第73号	令和4年度東御市介護保険特別会計補正予算（第2号） 高額医療合算介護サービス費50万円の増額補正	○	○
条例一部改正等		採決 結果	常任委員会審査結果 総務産業 社会文教
議案第70号	東御市移住体験交流施設条例 東御市移住体験交流施設の設置および管理に関し必要な事項を定めるもの	○	○ —
議案第71号	東御市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 国家公務員の妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援措置を踏まえ所要の改正を行うもの	○	○ —
請願・陳情			
請願第2号	「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採択を求める請願書	採択	— 採択
請願第3号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	採択	— 採択
陳情第20号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	議席配布	— —
議員提出議案			
議員提出議案第4号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について	○	—
議員提出議案第5号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書の提出について	○	—

常任委員会審査結果の「—」印は、常任委員会に付託されなかった案件です。

令和4年
9月

定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議 案 番 号	会派名・議員名 案 件	さわやかな風の会								東翔の会				公明党		日本 共産党		
		長 越 修 一	依 田 俊 良	山 崎 康 一	中 村 眞 一	花 岡 豊 一	村 山 弘 子	斉 藤 哲	滝 澤 栄 一	田 中 博 文	佐 藤 千 枝	田 中 信 寿	瀬 田 智 之	大 塚 博 文	高 木 真 由 美	西 山 福 恵	窪 田 俊 介	市 毛 真 弓
議案第59号	令和3年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第65号	令和4年度東御市一般会計補正予算（第7号）	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

本会議での各議員の賛否（賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」）

予算決算
特別委員会
審査報告



予算決算特別委員長
高木 真由美 議員

予算決算特別委員会は、本定例会に提案の令和3年度一般会計決算認定の他、特別会計決算認定5件、公営企業会計決算認定3件、令和4年度の補正予算案件9件について審査しました。審査においては、総務産業委員会、社会文教委員会、両常任委員会の詳細な予備審査報告をもとに委員間で

質疑を行いました。このうち、令和3年度湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計決算認定について、「個人版ふるさと寄附金の市長に任せ分は一般財源であり、屋内プール事業に充てることは市長公約に反する」との意見がありました。また令和4年度一般会計補正予算（第7号）の審

査では、高齢者センター改修実施設計業務委託料について「高齢者センターの入浴施設を廃止ありきで進めることは利用者の声を反映していない」との意見がありました。なお令和3年度一般会計決算認定にあたり、審査の中で出された意見をもった次の附帯意見をつけました。

令和3年度一般会計決算認定 附帯意見

一つ デジタル弱者に配慮するとともに、行政のデジタル化とDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を加速し、住民サービスの向上と業務の効率化をはから

分かりやすく専門部署を設け相談窓口や取り扱いの一本化をはから

一つ スポーツ振興や子育て支援の見地から、市民要望が高まっている市内小中学生が利用する市の公共施設の使用料の軽減や無償化をはか

一つ 空き家問題は社会的重要課題である。市民に

※アウトリーチとは
訪問支援のこと。

条例
審査

東御市移住体験
交流施設条例

和地区の教員住宅の棟を改修し、本市への移住希望者に生活の体験および地域住民との交流の場を提供し、移住定住の促進をはかる「移住体験交流施設」の設置、使用料などを定める条例です。

使用料については、4月～10月が1泊3000円、11月～3月が1泊3500



体験交流施設に改修予定の建物

施設は市の直営で、専門の担当職員が施設の維持管理を行います。現在改修工事中で12月から利用開始となります。

請願
陳情

《請願第2号》

「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」の採択を求める請願

どの子にもゆきとどいた教育をするため、さらなる少人数学級推進と教育予算の増額、複式学級の学級定員を下げる

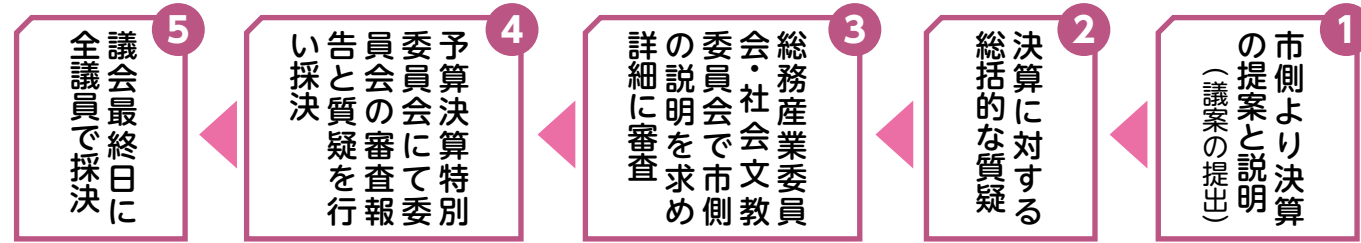
後、社会文教委員会の審査を経て、全会一致で採択する事と決定しました。

請願内容が意見書にし、国に提出するとする議員提出議案も全会一致で可決されました。

なお、請願第3号の、県に教員の「へき地手当」の支給額を近隣県並みの水準に戻すことを求める請願も採択しました。

決算の議案提出から採決まで

決算審査の流れ





市内畜産農家の堆肥活用

市内畜産農家の堆肥活用
堆肥購入者へ補助金を交付している。今後も化学肥料の価格高騰対策、使用量の低減に取り組んでいく。

問 支援事業の内容は。
産業経済部長 農業用肥料および畜産飼料の購入費用の一部を支援する農業用資材調達支援事業補助金の申請を受け付けており、5万

円以上の農業用肥料または畜産飼料の購入費を対象として、農業用肥料は補助率10%で上限額20万円、畜産飼料は補助率20%で上限が百万円を補助する。

問 市の堆肥等の活用状況はどうか
産業経済部長 畜産業者と農業者の耕畜連携による循環型農業を推進するため、堆肥購入者へ補助金を交付している。今後も化学肥料の価格高騰対策、使用量の低減に取り組んでいく。



たまた せいいち
滝澤 栄一議員

答 **問**

農業用生産資材の高騰対策について支援事業はあるか
市独自の支援策として購入費用の一部を支援している



東御市ハザードマップ

問 東御市国土強靱化地域計画にもあるように、災害本部がある市役所や市民を守る病院が被災したら被害はさらに拡大する。ハザードマップによると病院あたりは一階の軒下部分までの浸水が想定されている。東御市民病院や助産所が被災した場合の避難方法は。
病院事務長 ある時点で外

来受付を停止し、避難は市民病院2階の南側、西側に垂直避難する予定。場合によっては東部中学校や連携医療機関への立ち退き避難も想定している。また、昨年より風水害時の避難確保計画の作成を進めており、9月11日に避難訓練を実施し計画の実効性を検証する。

問 電力や食料・水の備蓄、また補給は。
病院事務長 屋上の自家発電設備により電力を3日間供給可能。食料は80人の3日分、飲料水はペットボトルで180リットルを備蓄。水道水は70トン貯水している。また緊急時必要となる3日分の医薬品を常時確保している。

問 患者情報等、データのバックアップ体制は。
病院事務長 電子カルテはクラウド型を採用しており、被災しても情報が失われない。通信回線が遮断された場合は病院内に直近3カ月分のデータが保管されており、かかりつけ患者の対応は可能である。



たなか ひろみち
田中 博文議員

答 **問**

病院や助産所が被災した場合の対応は避難訓練を実施し避難確保計画の実効性を検証する

東御市議会のホームページから、今回の一般質問を動画で見ることができます。パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。

東御市議会

検索



一般質問

議員
14人

市政を問う

一般質問項目

瀬田 智之

●中学校部活動の現状と地域移行について

滝澤 栄一

●農業用生産資材等の高騰対策について

●マイナンバーカードの利用促進について

田中 博文

●災害時の対応について

佐藤 千枝

●重層的支援体制整備事業の取組について

山崎 康一

●コロナ禍における地域づくり活動について

●市営墓地について

市毛 真弓

●東御市高齢者センター整備計画について

●新型コロナウイルス感染症について

村山 弘子

●総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの現状と課題について

●市におけるDX化の行政の現状と今後の方向性について

田中 信寿

●移住体験交流施設について

西山 福恵

●認知症対策について

大塚 博文

●観光業の現状と将来の振興策に関連する基礎情報について

花岡 豊一

●避難所として使用する施設の状態の見える化について

●DX推進の現状と取組について

斉藤 哲

●水道事業について

高木 真由美

●地域包括ケアシステムの推進について

窪田 俊介

●湯の丸高地トレーニング施設について

●学校給食費について

●国葬について



東部中学校サッカー部の生徒たち

教育次長 7月末現在18名の登録がある。そのうち10名の方が、バレーボール・野球・バスケットボール・剣道・ヒップホップダンスなども学校部活動も指導可能としている。

問 全国的に「ゆる部活」が広がっているが、今後現在ある既存の枠組みの変更にどう対応していくか。
教育次長 現在の枠組みにとらわれない多様なスポーツに友だちと楽しく取り組めること、学校やスポーツが持つ新たな魅力アップにつながる、今後の部活動のあり方を見直す大切な視点につながることを考えている。

問 文化系部活の地域移行について考えをうかがう。
教育次長 運動部と同じように様々な課題が想定される。国や県の動きを見ながら、上小圏域の4市町村と連携をはかりつつ、地域移行に向けた具体的な取組や推進計画を整えていく。



せただ ともゆき
瀬田 智之議員

答 **問**

部活動の地域移行に伴う近隣の自治体との連携は上小圏域の4市町村で協議を始めている



東御市総合福祉センター

問 6月定例会、一般質問で、新しい高齢者施策を実施する施設が、従来からの入浴施設かの2項対立の構図で選択を迫るのは、福祉施策を進めるうえでふさわしくないと再検討を求めたが、どう対応をしたか。

健康福祉部長 限られた財源やスペースを、高齢者の地域生活を支える福祉サービス等の拠点として、有効活用するための活発な意見交換が行われ、十分な検討がなされたと考えている。

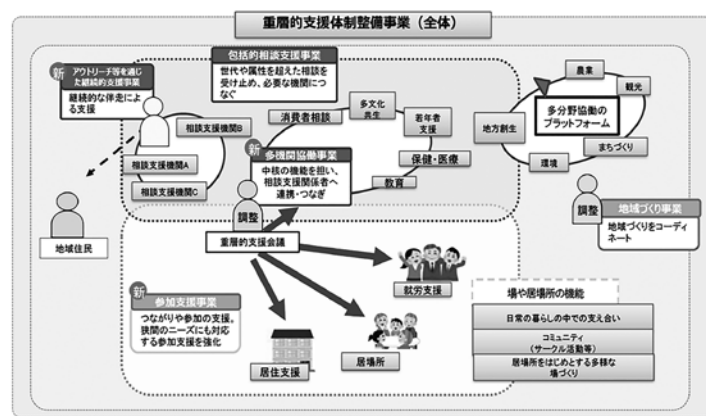
問 十分な議論がなされたとのことだが、足りないものは利用者の意見だ。議事録に「いいね」に情報を発信しながら、ご理解をいただいて対応をしっかりとしたいうえで、浴室は廃止して



市毛 真弓議員

問 高齢者センター整備計画は、総合的に検討したのか

答 福祉や健康増進等の複合的な課題に対応した



重層的支援体制整備事業のイメージ図

問 ひきこもりの方など社会的孤立にある方やその家族への具体的な支援の取組はどうか。

健康福祉部長 令和4年度より福祉課に新たにひきこもり対策の担当者

問 介護・障がい子ども生活困窮およびひきこもりの相談支援や地域づくり事業を一体として実施する重層的支援体制整備を、どのように進められるのか。

健康福祉部長 重層的支援体制整備事業は属性を問わない包括的な支援である。個別の実情に応じた関係機関との連携をはかり、これまで同様、引き続き包括的な支援に取り組

問 重層的支援体制整備事業について市長の考えは。



佐藤 千枝議員

問 個人や家庭が抱える課題に対する支援の取組はどうか

答 課題が複雑化・多様化し、包括的支援に取り組んでいる

市長 ほかの施設を利用していたため、どの程度の対応が必要かは、要望を受け検討させていただければと思う。



北御牧支所横のSany TOMI事務所

問 部署をこえた若手を活かしたDX対応の市内組織をつくったかどうか。

市長 若手を中心にしたIT推進委員会を組織してデジタル化の推進をしてい



村山 弘子議員

問 市におけるDX化の今後の方向性は

答 市民の利便性や行政サービスの向上に取り組む



佐久宝寿霊園の合葬式墓地

現時点では、検討された内容を提言にまとめている。またアンケート結果からは、樹木葬型合葬式墓地や緑豊かな憩いの場所への設置を希望するなど、市民の様々な意見を把握することが出来たので、今後予定されている検討委員会

問 地域づくり支援員の活動の充実をはかることについて、どう考えるか。

問 昨年11月より開催されている墓地の在り方検討委員会の状況は。また市民アンケートの結果はどうか。

市民生活部長 これまでの間、公営墓地を有する自治体へ合葬式墓地や樹木葬型墓地についての視察や、東御市墓地に関する市民アンケートの実施、人口推計、移住人口や福祉的ニーズなど、様々な観点から検討を重ね

問 建設に向けて次の段階に入る



山崎 康一議員

問 今後合葬式墓地を整備するのか

答 建設に向けて次の段階に入る

Sany TOMIの現状と課題

問 会員数や活動状況は。

企画振興部長 利用会員が101名、運営側の正会員3名、応援するサポート会員42名の計146名。状況は週一回の子ども運動スクール、ダンス、



サービスエリアの景観支障木

問 観光客の移動は鉄道と車でのような割合か。東部湯の丸インターチェンジ（IC）の利用数はどうか。

答 観光客の移動は鉄道と車でのような割合か。東部湯の丸インターチェンジ（IC）の利用数はどうか。将来の振興策に関連する基礎情報について。

問 コロナ禍が長引いているが観光業への影響はどうか。支援の状況はどうか。

答 観光消費額も半減していたが、7割程度まで回復してきている。地方創生臨時交付金などを活用し、令和2年度以降に11事業で総額約4億円の支援を行っている。



大塚 博文議員

問 コロナ禍の観光業への影響と支援状況はどうか

答 回復傾向にあるが低迷中で国や県と連携し支援を継続



農作業器具などを入れる倉庫も設置される移住体験交流施設

問 施設の運営体制や運営方法はどうか。

答 市との直営とし、移住希望者が住みながら、具体的なニーズを把握する。滞在中の訪問先・交流先の提案、市内定住・アドバイザなどを通じて、移住希望者が具体的に移住を検討できる機会を創出をはかる。

問 新設の移住体験交流施設の設置目的と概要はどうか。

答 施設は、移住希望者に、一定期間、本市の気候、風土、生活の体験並びに地域住民との交流体験の場として提供し、移住・定住の促進を図ることを目的として設置するものである。

問 施設には専門職員を配置するのか。

答 施設には専門職員を配置する。空き家対策のための地域おこし協力隊を新たに配置し、施設の維持管理をする予定である。



田中 信寿議員

問 新設の移住体験交流施設の運営体制はどのようなか

答 市の直営で行い具体的な移住検討機会の創出をはかる



花岡 豊一議員

問 施設の数、面積、築年数はどうか

答 避難所として使用の施設の状態の見える化について



認知症についてわかりやすくまとめられたケアガイド

問 子どものためにも認知症を理解してもらうため、朝の読み聞かせで認知症の話を取り組んでほしい。

答 小・中学校へ情報提供する。

問 新型コロナウイルスの感染が広がりましたが、ワクチン接種も4回目が始まり、社会活動もだいたい以前のようにできるようになったが、市における認知症対策の現状はどうか。

答 認知症の方々が尊厳をもって地域で自分らしい生活を送るには、その人を支える家族を含めた支援が欠かせない。認知症

問 認知症の方と家族の地域活動や交流の支援はどうか

答 認知症カフェで、参加者同士の交流をはかっている



西山 福恵議員

問 認知症の方と家族の地域活動や交流の支援はどうか

答 認知症カフェで、参加者同士の交流をはかっている



消費者物価指数(前年同月比)

問 食料費高騰分の補助について、児童生徒1人当たり、実際にいくら軽減したことになるのか。

教育次長 学

問 食料費高騰分の補助について、児童生徒1人当たり、実際にいくら軽減したことになるのか。

教育次長 学

問 国葬について

総務部長 現在、国、あるいは県を通じて市および教育委員会に対して何らかの要請の通知は届いていない。

問 国葬について東御市で何が行う予定があるのか。

総務部長 市独自に何かを行う予定は現在のところない。

問 学校給食費について、6月定例会で地方創生臨時交付金を用いて食材費の高騰分の補助を行った。その後の物価の影響はどうか。

教育次長 令和4年7月の



窪田 俊介議員

問 給食費の負担軽減は継続が必要ではないか

答 必要に応じ対応する

全国消費者物価指数は、前年同月比で2.4%上昇し、11か月連続で前年同月を上回っており、学校給食の現場は厳しい運営を強いられている。

における上昇率から6.3円とし、合計で12円程度の補助である。年間給食日数200日で児童生徒1人当たり2400円程度の抑制になっている。



斉藤 哲議員

問 集中豪雨による水道水の濁りへの対策をうかがう

答 今年度策定する水道整備計画の中で更新をはかる



西宮水源配水池

また、水質基準適合検査に際し市独自の検査はあるか。

都市整備部長 計画は策定中であるが、老朽化した施設の更新、配水池や水系間で水道水の連携可能な仕組みづくり、災害対策向けに可搬式緊急用発電機の配置など検討している。

湧水を水源としている箇所では集中豪雨によって濁りが発生、昨年8月の豪雨で奈良原第1水源、大石沢第2水源、西宮水源の3箇所でも濁りを確認している。

問 濁りが発生する水源について抜本的な対策をうかがう。

都市整備部長 策定中の水道施設整備計画の中で、計画的な更新をはかりたい。

本年度予算計上されている水道施設整備計画の概要をうかがう。

集中豪雨の際に濁りが発生する水源はあるか、濁りが確認された場合の対応は。

また、水質基準適合検査に際し市独自の検査はあるか。

都市整備部長 計画は策定中であるが、老朽化した施設の更新、配水池や水系間で水道水の連携可能な仕組みづくり、災害対策向けに可搬式緊急用発電機の配置など検討している。

湧水を水源としている箇所では集中豪雨によって濁りが発生、昨年8月の豪雨で奈良原第1水源、大石沢第2水源、西宮水源の3箇所でも濁りを確認している。

問 濁りが発生する水源について抜本的な対策をうかがう。

都市整備部長 策定中の水道施設整備計画の中で、計画的な更新をはかりたい。

総務産業委員会

農業委員会との懇談会

総務産業委員会は、9月28日に農業委員会との懇談会を行いました。コロナ禍によりおよそ3年ぶりの開催となりました。

懇談のテーマは、荒廃農地や遊休農地解消の重要施策である「人・農地プラン」の推進についてで、活発な意見交換となりました。

まず農業委員会より取り組みの状況と課題の説明があり、その後議会に対する要望を聞きました。農業委員の皆さんからは、「東御市農業の将来にとって非常に大事な取組なので、議会全体で共有してもらい積極的に関与して欲しい」との要望をいただきました。

要望に添い会議への出席や地域内の調整など、積極的な支援をしていきます。



和児童館移転新築



社会文教委員会では、和児童館の現地調査を行いました。4月開所の予定が、ウッドショックで建材調達が遅れ、7月1日開所となりました。総工事費は1億6771万円(うち国庫・県補助4割)です。

学校敷地内に移転新築された和児童館は児童クラブの併設で、子どもの居場所として利便性向上をはかりました。児童クラブ室、学習室、図書室は空調設備が設置されています。今後、他の小学校区で児童館の改築を検討する場合は、和児童館の経験を活かすよう、委員から意見がありました。

社会文教委員会

現地調査



問 介護状態にない高齢者も含め一人ひとりのニーズにあった支援計画の策定はできているか。

健康福祉部長 介護サービスを利用されていない高齢者に対しては支援計画の策定はできていない。

問 介護状態にない高齢者も含め一人ひとりのニーズにあった支援計画の策定はできているか。

健康福祉部長 介護サービスを利用されていない高齢者に対しては支援計画の策定はできていない。

問 地域包括ケアシステムの課題と今後の方向性は。

健康福祉部長 取組内容が市民に伝わっていないことが課題であるため、資料など活用し理解を深めて頂く。

問 高齢者の自立支援・重症化防止に向け、地域ごとの特性や生活課題といった実態把握はできているか。

健康福祉部長 年に1回、65歳以上の独居高齢者および高齢者のみ世帯の実態調査を民生児童委員に依頼し、結果については地域包括支援センター職員と情報共有をしており、必要に応じて定期的な訪問や介護サービス等につなげている。

問 介護状態にない高齢者も含め一人ひとりのニーズにあった支援計画の策定はできているか。

健康福祉部長 介護サービスを利用されていない高齢者に対しては支援計画の策定はできていない。

問 介護状態にない高齢者も含め一人ひとりのニーズにあった支援計画の策定はできているか。

健康福祉部長 介護サービスを利用されていない高齢者に対しては支援計画の策定はできていない。



高木 真由美議員

問 地域包括ケアシステム推進のための市の役割は何か

答 関係機関との連携強化や支え合い体制づくりの構築



少量多品目栽培に取り組む明るい仲間たち

澄んだ空気・さわやかな風の中で東御市の気候を生かし、安心・安全な野菜作りにチャレンジしている、たんぽぽyou農さんを訪ねてお話を聞きました。

農業を始めたきっかけは何ですか

やよいさん 家を建てて、目の前に広がる土地を見ていたら子どもの頃を思い出して家庭菜園を始めました。次女が産まれてから機械設計の仕事をしていたけれど「この仕事はどこでもできる。ここでしかできない仕事をしたい。子どもに『お帰り』って言うて迎えるそんな親になりたい」って思ったのがきっかけです。

感動したことを教えてください

やよいさん 捨てた大根の種が、草を捨てておいたところで立派な大根になっているのを発見した時、感動し大きなメッセージをもらった感じがして、同時にひらめきをもらいました。「これだ」って感じでした。

スタッフと取り組んでいることは何ですか

やよいさん 味噌作りや漬物作り、昔の農家がやってきたことを一緒に楽しく体験しています。大人の遠足

もよくしています。自分たちの作った食材を出している所へ食べに行つて、どんな人たちを喜ばせることができるのか、研修を兼ねて出かけ楽しんでいきます。

たんぽぽyou農の意味は何ですか

やよいさん 私たちが自己満足ではなく、たんぽぽの綿毛のようにあちこちへ旅立つて行つてyou農相手とともに楽しむという意味です。

例えば今年の8月には宅配で野菜を届けている家族が横浜から来ました。こういうつながりを大切にしていきたいと考えています。

今後の活動で考えている事を教えてください

やよいさん 失敗も経験な



清水さん(右から2番目)を囲むたんぽぽyou農のみなさん

ので、いろんな失敗をしてきたからこそ、今は教えられる自信があります。有機農法をやりたい人がいたら教えてあげたいです。

一緒に苦労しつつ、仲間づくりをし、事業として成功させるように、ともに進みたいと考えています。

……

瞳の奥に強い信念を持った目でとても熱く語ってくれました。ここまでの失敗も全部力に変えていくというスタンスが彼女も周りのスタッフも楽しめる空間を作っているのだと感じました。(取材花岡・村山)

あとがき

長引くコロナ禍の秋、巨峰の王国まつりや火のアートフェスティバル、天空の芸術祭が開催されました。行事や季節のイベントができたことで、子どもも大人も誰もが忘れかけていた幸せを感じたのではないのでしょうか。

市民の生活向上を目指し普通の暮らしを取り戻すことが市議会議員の努めです。皆さんの声を是非お寄せ下さい。 **市毛 真弓**

議会の傍聴へお越しく下さい

令和4年12月定例会における一般質問は12月6日・7日に予定されています。

本会議、全員協議会、常任委員会、特別委員会は傍聴することができます。定例会の日程は、確定後、東御市議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。※一般質問の日程は変更となる場合があります。

広報委員
田中 信寿
瀬田 智之
村山 弘子
市毛 真弓
花岡 豊一
大塚 博文
高木 由美
佐藤 千枝
長越 修一

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】
東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市県281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040